

6月16日は和菓子の日

6月16日は「和菓子の日」です。とらやでもこの日にちなんだ商品を期間限定で販売いたします。そこで「和菓子の日」についてとらやの菓子とともにご案内いたします。

★「和菓子の日」の由来

6月16日は「和菓子の日」。この記念日は、昭和54年(1979)に全国和菓子協会が制定したものです。そのルーツは「嘉祥^{かじょう}」という行事にあります。菓子が主役の行事で、江戸時代には公家や武家から庶民まで厄除招福を願って菓子を食べました。

★「嘉祥」と和菓子

嘉祥の由来は諸説あり、平安時代の仁明天皇^{にんみょう}の御代から始まる招福・厄除けの行事とも言われます。室町時代には6月16日に行われるようになり、江戸時代に広まり、明治時代に途絶えました。

室町時代の武家ではこの日楊弓^{ようきゆう}を行い、負けた者は中国の「嘉定通宝」16枚で食べ物を購^{あがな}って、勝者をもてなしました。嘉と通が「勝^{かつ}」に通じることから、武家に尊ばれたのです。

江戸幕府は嘉祥を重要な行事と位置づけ、江戸城の大広間に饅頭・羊羹など約2万個を並べ、将軍が大名・旗本へ菓子を与えました。

庶民の間でも同じ日に菓子などが食べられていました。井原西鶴『諸艶大鑑^{しよえんおおかがみ}』(1684)には、京都島原の嘉祥喰いの場面が見え、とらやの羊羹など16種の食べ物が用意されています。



「千代田之御表 六月十六日 嘉祥ノ図」：江戸城内で菓子が配られている様子が分かる。虎屋所蔵
<参考資料>

中山圭子『事典 和菓子の世界』/ 青木直己『図説 和菓子の今昔』

とらやでは、下記の商品を販売いたします（価格はすべて税込です）



◆ 『^{か じょうむしようかん}嘉祥 蒸羊羹』

夏負けの防止効果があるとされる黒砂糖を加えおつくりしました。

販売期間：2014年6月1日(日)～6月16日(月)

販売店：とらや全店（一部店舗を除く）

価格：1本 2,268円



◆ 『^{か じょうまんじゅう}嘉祥 饅頭3個入』

風味の異なる3種（黄の薯蕷饅頭、紅の新饅、茶の利休饅）のお饅頭です。それぞれに嘉定通宝の朱印、招福の焼印、「全国和菓子協会」マークの焼印を押してあります。

販売期間：2014年6月10日(火)～6月16日(月)

販売店：とらや全店（羽田空港売店を除く）

価格：1箱 1,080円



◆ 『^{ふく}福こぼこ』

道明寺製「なりひさご」、煉切製「はね鯛^{だい}（紅・白）」、「御目出糖^{おめでとう}」の3種類。縁起の良いお菓子を詰め合わせました。

販売期間：2014年6月10日(火)～6月16日(月)

販売店：全直営店・新宿伊勢丹・アトレ目黒1・

玉川高島屋S・C・横浜そごう・京都高島屋・

大丸京都店・ジェイアール京都伊勢丹

価格：1箱 1,923円



◆ 『^{かじょうがし}嘉祥菓子7ヶ盛』(要予約)

^{かわらけ}土器に盛った7種類の嘉祥菓子は、江戸時代末期、御所にお納めしていたものをもとにおつくりしています。

店頭販売日：2014年6月16日(月)

販売店：全直営店(御殿場店を除く)・新宿伊勢

丹・アトレ目黒1・玉川高島屋S・C・横浜そごう・京

都高島屋・大丸京都店・ジェイアール京都伊勢丹

価格：2,808円

取材に関する問い合わせ先

株式会社 虎屋 社長室 広報課

住所：東京都港区赤坂 4-9-22

電話：03-3408-4128

FAX：03-3796-1548

E-mail：kouhou@toraya-group.co.jp

<http://www.toraya-group.co.jp/>